



2025 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 K u d a n 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 項 大 雨
(コード番号 4425 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 中 山 紘 平
(T E L . 0 3 - 6 8 9 2 - 7 3 3 3)

連結業績と前期実績値との差異及び 営業外収益、営業外費用、特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2025 年 3 月期の連結業績と前期実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、当社は、営業外収益、営業外費用、特別損失を計上いたしましたので、下記のとおりあわせてお知らせいたします。

記

1. 2025 年 3 月期の連結業績と前期実績値との差異

(2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 期 実 績 (A)	490	△527	△50	△69	△7.88
当 期 実 績 (B)	517	△800	△743	△801	△72.85
増 減 額 (B - A)	26	△273	△692	△731	
増 減 率 (%)	5.4	—	—	—	

<差異の理由>

デジタルツインなどにおけるソリューション化の強化により、通年実績の売上高は前期実績値から増加となりました。

営業利益については、事業戦略の修正による、組織強化・技術調達のコスト増加により、前期実績値との差異が生じました。

経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益については、上記要因に加え、主に為替差益及び補助金収入の減少により、前期実績値との差異が生じました。

2. 営業外収益の計上

ポンド・ユーロ・ドルの為替レートの変動に起因する為替差益を当第3四半期累計では165百万円計上しておりましたが、当第4四半期累計では為替差益21百万円を計上することとなりました。

3. 営業外費用の計上

売上債権の貸倒れにより、貸倒損失6百万円を計上しております。

4. 特別損失の計上

取得した研究開発等の固定資産の評価減に対する減損損失を当第3四半期累計では39百万円計上しておりましたが、当第4四半期累計では減損損失57百万円を計上することとなりました。

上記の営業外収益、営業外費用及、特別損失の計上による業績への影響につきましては、本日公表いたしました「2025年3月期 決算短信[日本基準](連結)」に反映しております。

■お問い合わせ先は[こちら](#)